

# 音 楽

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい音楽
17	教 出	小学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	小学生の音楽

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	目標の表記の仕方及び目標達成のための支援
		② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	歌唱教材「ふるさと」の扱い
		③ 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	リコーダーの扱い
		④ 我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとの鑑賞曲, 器楽表現として扱う和楽器
(イ)	学習方法の工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	多様な音楽活動のための資料, 日常生活と関連する記述等
		⑥ 「音楽づくり」の学習の扱い	「音楽づくり」に関する学習の構成
		⑦ 表現と鑑賞の関連	表現と鑑賞の関連の扱い方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 題材や資料等の配列	歌唱及び器楽における系統的な扱い
		⑨ 発展的な学習に関する内容の記述の工夫	題材及び学習内容の構成, 発展的な学習内容の表記等
(エ)	内容の表現・表記	⑩ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	キャラクターやマーク等の活用, 楽譜の扱い
(オ)	言語活動の充実	⑪ 鑑賞領域における言語活動の工夫	鑑賞領域における話し合う視点の記述, ワークシートの工夫

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①題材の目標の示し方
<b>方法</b>	目標の表記の仕方及び目標達成のための支援及び題材例

	目標の表記の仕方及び 目標達成のための支援	第4学年「音の重なり」を扱った題材
<b>東 書</b>	<p>見開き左ページ上に学習目標を示し、達成できたかどうかの確認をするための項目を左ページ上と右ページ下に呼応するように示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標の表記の仕方 題材名, 学習目標, 共通事項の表記</li> <li>○ 目標達成のための支援 確認するための項目, キャラクターの吹き出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名:「重なりを感じとろう」 学習目標:ふしとばんそうの重なりを味わおう ふしとばんそうが表す様子を感じとれるかな。</li> <li>○ 確認するための項目:ふしとばんそうの重なりが表す様子を感じとって,「白鳥」を味わってきけたかな。</li> <li>○ キャラクター:きいて感じたことをカードに書いてもいいね。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<p>見開き左ページ上に学習目標を示し,ポイントマークで活動のポイントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標の表記の仕方 題材名, 学習目標, 共通事項の表記</li> <li>○ 目標達成のための支援 活動のポイントを示すマーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名:「アンサンブルの楽しさ」 学習目標:かけ合いや重なりのおもしろさを味わおう</li> <li>○ ポイントマーク:えんそうする楽器を変えて,音色の組み合わせをくふうしよう。 強さのバランスに気をつけてえんそうしよう。</li> </ul>
<b>教 芸</b>	<p>見開き左ページ上に学習目標を示し,更に学習展開への支援となる活動文や活動のヒントなどを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標の表記の仕方 題材名, 学習目標, 共通事項の表記</li> <li>○ 目標達成のための支援 支援となる活動文, キャラクターの吹き出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名:「音の重なりを感じ取ろう」 学習目標:せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。</li> <li>○ 支援となる活動文:<b>ア</b>と<b>イ</b>のせんりつのとくちょうを生かしながら,<b>ア</b>と<b>イ</b>を通して歌ったり重ねて歌ったりしましょう。 2つのせんりつの重なり合いに気をつけてききましょう。</li> <li>○ キャラクター:最後に2つのせんりつが重なるところでは,「王の行進」のせんりつは,どのように変わっているかな。</li> </ul>

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
<b>方法</b>	歌唱教材「ふるさと」の扱い

歌唱教材「ふるさと」(第6学年)の例	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞</li> <li>○ 速度</li> <li>○ 合唱の扱い</li> <li>○ イメージをもたせる手立て</li> <li>○ 学習の目標</li> <li>○ 教科書の配置</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1～3番</li> <li>○ ♩=80～88ぐらい</li> <li>○ 二部合唱または三部合唱</li> <li>○ 縦書き詞, 言葉の説明, ふるさとの風景の写真の提示</li> <li>○ 「様子を思い浮かべながら, 気持ちをこめて合唱しましょう。」</li> <li>○ 題材「日本の音楽, 世界の音楽」の学習後に, 題材とは別に「日本の歌 心の歌」の1曲として位置付いている。</li> </ul>
<b>教 芸</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞</li> <li>○ 速度</li> <li>○ 合唱の扱い</li> <li>○ イメージをもたせる手立て</li> <li>○ 学習の目標</li> <li>○ 教科書の配置</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1～3番</li> <li>○ ♩=76～84</li> <li>○ 二部合唱と対旋律(三部合唱)</li> <li>○ 縦書き詞, 言葉の説明, ふるさとの風景, 歌碑の写真の提示及び昔のふるさとの様子についての説明</li> <li>○ 「歌詞の意味を理解して, 曲想豊かに歌いましょう。」</li> <li>○ 題材「和音の美しさを味わおう」の学習後に, 題材とは別に「このころのうた(共通教材)」の1曲として位置付いている。</li> </ul>

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
<b>方法</b>	リコーダー学習の具体例

第3・4学年におけるリコーダー学習の具体例		
<b>東 書</b>	○ リコーダー学習の導入（第3学年）	・タンギングをして「シ」の音をふく。→鑑賞曲を聴く。→「ラ」の音をふく。
	○ 学習する音の順序	・第3学年 シ→ラ→ソ→ <u>ド</u> → <u>レ</u> →ミ→ファ 第4学年 ミ→ <u>ミ</u> ・ <u>ファ</u> ・ <u>ソ</u>
	○ 各音の指使いの説明	・導入以降も、階名・五線譜・歌口を下側にした子どもの目線でのリコーダーのイラストに加え、リコーダーを構えた時の横から見た写真を掲載している。
	○ 息の入れ方・タンギングの説明	・トゥとフーを比較してタンギングを習得させる。 ・新しく学習する音・指使いと共に、3年で「トゥ」「トー」4年で「トー」「ティ」と表記している。
<b>教 出</b>	○ リコーダー学習の導入（第3学年）	・リコーダーのつくりを知る。→鑑賞曲を聴く。→「シ」の音をふく。
	○ 学習する音の順序	・第3学年 シ→ラ→ソ→ <u>ド</u> → <u>レ</u> → <u>ファ</u> → <u>ミ</u> → <u>レ</u> 第4学年 ミ→ <u>ミ</u> → <u>#ソ</u> → <u>ド</u>
	○ 各音の指使いの説明	・「シ」「ラ」「ソ」「 <u>ド</u> 」「 <u>レ</u> 」までは、階名・五線譜・歌口を下側にした子どもの目線でのリコーダーのイラストに加え、リコーダーを構えた時の子どもの目線や横から見た写真を掲載している。
	○ 息の入れ方・タンギングの説明	・大きなしゃぼん玉をつくるような息でふくよう説明している。 ・3年の導入で、タンギングを「トゥ」と発音するように、4年で高い音を響かせるために、「ティ」と発音すると説明している。
<b>教 芸</b>	○ リコーダー学習の導入（第3学年）	・鑑賞曲を聴く。→リコーダーで「シ」をふく。
	○ 学習する音の順序	・第3学年 シ→ラ→ソ→ <u>ド</u> → <u>レ</u> → <u>ファ</u> → <u>ミ</u> → <u>レ</u> → <u>ド</u> 第4学年 <u>ミ</u> → <u>ファ</u> → <u>ソ</u>
	○ 各音の指使いの説明	・「シ」「 <u>レ</u> 」では、階名・五線譜・歌口を下側にした子どもの目線でのリコーダーのイラストに加え、リコーダーを構えた時の横からの写真と子どもの目線の写真で説明している。
	○ 息の入れ方・タンギングの説明	・「トゥー」と「フー」を比較してタンギングを習得させている。 ・3年の導入で、タンギングを「トゥー」と発音するように、4年で高い音は「ティ」とタンギングするようにと説明している。

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	④我が国の音楽に関する内容の扱い
<b>方法</b>	学年ごとの鑑賞曲，器楽表現として扱う和楽器

	学年	鑑賞曲，和楽器	
東書	1	鑑賞曲	・おせんべ やけたかな ・おちゃらか ほうい ・おちゃを のみに きて ください
	2	鑑賞曲	・にいちゃんが ・ちゃちゃつぼ ・なべ なべ
	3	鑑賞曲	・わらべ歌 (からすかねもん かんざぶろう 他)
	4	鑑賞曲	・日本のいろいろな地方の音楽 (花田植 (広島県) 他)
		和楽器	・長どうだいこ ・しめだいこ
	5	鑑賞曲	・箱根八里 ・荒城の月
和楽器		・締だいこ ・たる ・鉦	
6	鑑賞曲	・安里屋ユンタ ・谷茶前 ・雅楽「越天楽」 ・春の海	
	和楽器	・箏 ・尺八	
教出	1	鑑賞曲	・わらべうた (なか なか ほうい, にいちゃんが)
	2	鑑賞曲	・日本のたいこ
		和楽器	・たいこ
	3	鑑賞曲	・祇園囃子 ・神田囃子
	4	鑑賞曲	・日本のお祭りの音楽 (壬生の花田植 (広島県) 他)
		和楽器	・大だいこ ・しめだいこ
5	鑑賞曲	・山田耕筰の歌曲 ・長唄「越後獅子」から ・日本の民ようと子もり (音戸の舟歌 (広島県) 他)	
	和楽器	・しの笛	
5	鑑賞曲	・春の海	
	和楽器	・箏 ・あたりがね ・しめだいこ ・たる (八木節)	
教芸	2	鑑賞曲	・ずいずい ずっころばし
	3	鑑賞曲	・祇園囃子 ・神田囃子 ・郷土の音楽 (宮島管絃祭の音楽 (広島県) 他)
		和楽器	・大だいこ
	4	鑑賞曲	・ソーラン節 ・南部牛追い歌 ・さくら さくら
		和楽器	・しめだいこ
	5	鑑賞曲	・待ちぼうけ ・春の海
和楽器		・箏	
6	鑑賞曲	・箱根八里 ・花 ・雅楽「越天楽」 ・日本の楽器	

<b>観点</b>	<b>(イ) 学習方法の工夫</b>
<b>視点</b>	⑤興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	多様な音楽活動のための資料，日常生活と関連する記述及び具体例

	多様な音楽活動のための資料 日常生活と関連する記述	具体例
<b>東 書</b>	○ 多様な音楽活動のための資料 各学年とも，表現活動のために曲集として「音楽の森」を設けている。	各学年で掲載されている曲数 第1学年：7曲 第2学年：7曲 第3学年：10曲 第4学年：11曲 第5学年：13曲 第6学年：11曲
	○ 日常生活と関連する記述 身の回りの物から音楽につながる活動を含む題材や生活とのかかわりに気付かせるような写真やコラムを掲載している。	第1学年 題材：「おんがくづくりをたのしもう」 第4学年 コラム「ふるさとの音楽—津軽三味線—」 第5学年 コラム「音楽の中でいちばん大切なのは『リズム』」 第6学年 巻末：「日本の音のきこえる風景」
<b>教 出</b>	○ 多様な音楽活動のための資料 各学年とも，表現活動のために曲集として「音楽ランド」を設けている。	各学年で掲載されている曲数 第1学年：8曲 第2学年：9曲 第3学年：7曲 第4学年：12曲 第5学年：10曲 第6学年：15曲
	○ 日常生活と関連する記述 身の回りの物から音楽につながる活動を含む題材や歌手等からのメッセージを掲載している。	第1学年 題材：「いいおとみつけて」 第4学年 巻頭：「うたはこころをつなぐ」 第5学年 巻頭：「音楽は心のたからもの」 第6学年 巻頭：「音楽は世界を結ぶ」
<b>教 芸</b>	○ 多様な音楽活動のための資料 各学年とも，表現活動のために曲集として「みんなで楽しく」を設けている。	各学年で掲載されている曲数 第1学年：17曲 第2学年：11曲 第3学年：8曲 第4学年：8曲 第5学年：12曲 第6学年：12曲
	○ 日常生活と関連する記述 身の回りの物から音楽につながる活動を含む題材や，巻頭「音のプリズム」や巻末「ステップアップ」の中で，日常生活と音楽とのかかわり，自分と音楽とのかかわりに気付かせるような写真等を掲載している。	第2学年 題材：「いろいろな音にしたしもう」 第3学年 巻頭：「音や音楽がつたえるもの」 巻末：「リコーダーのみりょく」 第4学年 巻末：「音楽がくれる力」 第5学年 巻頭：「音楽がささえる日本の心」 巻末：「思いをこめて伝えること」 第6学年 巻頭：「生活に生きる音楽」 巻末：「音楽を体で感じること」

<b>観点</b>	(イ) 学習方法の工夫
<b>視点</b>	⑥「音楽づくり」の学習の扱い
<b>方法</b>	「音楽づくり」に関する学習の構成及び具体例

	「音楽づくり」に関する学習の構成	具体例
<b>東 書</b>	各学年に同じ題材名「音楽づくりを楽しもう」として掲載している。	各学年の題材「音楽づくりを楽しもう」における活動内容とねらい
		第1学年 「いろいろなおとであそぼう」 みのまわりのものでいろいろなおとをだせるかな。 「さがしたおとで おんがくをつくろう」 リズムをつなげておんがくをつくれるかな。
		第2学年 「といかけたりこたえたりするようにうたおう」 2つのくみにわかれてうたいかたをくふうできるかな。 「リズムの音楽をつくろう」 リズムでといかけたりこたえたりできるかな。
		第3学年 「れっ車の音をさがそう」 れっ車のようすをあらわす音が見つかるかな。 「れっ車のたびの音楽をつくろう」 れっ車の走るようすがあらわせるかな。
		第4学年 「歌に合うリズムをつくろう」 音ぶや休ふを組み合わせ、リズムばんそうをつくれるかな。 「こきりこ節の前そうをつくろう」 5つの音を使ってふしをつくれるかな。
		第5学年 「自分のふしにばんそうをつけよう」 ふしに合う和音を見つけられるかな。 「友達とふしを組み合わせよう」 つなげたり重ねたりしてグループの音楽をつくれるかな。
		第6学年 「沖縄の音楽を味わってきこう」 ふしの流れやリズムの特ちょうを感じ取れるかな。 「沖縄風の音楽をつくろう」 ふしの流れやリズムの特ちょうを生かした音楽をつくれるかな。
<b>教 出</b>	各学年とも、「音楽づくり」に関する教材は「音のスケッチ」として取り上げられ、選択して取り扱えるよう複数の教材が掲載されている。	各学年の「音のスケッチ」における教材名と内容
		第1学年 「がっきをつくってみよう」 「ふく」・「ふる」・「うつ」楽器をつくる。 「ほしのおんがくをつくろう」 ド～ソの中から音を選び、「きらきら星」の旋律と合わせて演奏する。
		第2学年 「どんな音がきこえるかな」 身の回りの音を見つける。 「虫の声をつくろう」 楽きや音の出るものを使い、呼びかけたり答えたりする。 「おまつりの音楽をつくろう」 リズム・かけ声を選び、拍にのって呼びかけ合うように演奏する。 「みんなの音楽時計をつくろう」 拍にのせて、選んだふし・リズムを繰り返し合奏し、楽しむ。

教出	第3学年	「アフリカの音楽で遊ぼう」 リズムを組み合わせ、繰り返す伴奏に重ねて演奏する。 「森のイメージから音楽をつくろう」 楽器に小川・妖精などの役割をもたせ、短いふしをつくって組合わせて音楽をつくる。
	第4学年	「川のイメージから音楽をつくろう」 全体のイメージや進み方を文や絵でメモしたものをもとに、短い旋律やリズムなどの音型をつくり組み合わせて曲にまとめる。 「音階から音楽をつくろう」 選んだ音階から音型をつくり、低音を加えて重ね、曲づくりをする。
	第5学年	「言葉のイメージから音楽をつくろう」 詩の一部分を抜き出し、旋律をつける。 「インターロッキングの音楽にチャレンジ」 手拍子や打楽器で音色を工夫し、輪唱のようにリズムを重ねる。
	第6学年	「海のイメージから音楽をつくろう」 海の様子を表す短い音型や旋律をつくり、強弱・速度を工夫して組合わせ、曲にまとめる。 「じゅんかんコードから音楽をつくろう」 伴奏・旋律・終わり方の工夫の順に、曲をつくる。
教芸	各学年とも、複数の題材や題材を補完する部分の中で音づくりに関する教材が掲載されている。	音楽づくりが位置付いている題材名と活動内容
	第1学年	「はくをかんとろう」 なまえあそび 「はくにのってリズムをうとう」 ことばあそび 「けんばんハーモニカをふこう」 まねっこあそび 「いろいろなおとにしたしもう」 がっきあそび、おとあそび 「おとのたかさにきをつけてうたおう」 どれみあそび 「たがいのおとをきこう」 やまびこあそび
	第2学年	「音のたかさに気をつけてうたおう」 ドレミあそび、せんりつあそび 「はくにのってリズムをうとう」 リズムあそび 「いろいろな音にしたしもう」 音さがし、音あそび
	第3学年	「楽譜を読もう」 せんりつづくり 「はくのながれにのろう」 せんりつづくり 「いろいろな音色をかんとろう」 リズムばんそうづくり 「音の重なりをかんとろう」 リズムばんそうづくり 「音楽のしくみ」 せんりつづくり
	第4学年	「楽譜を読もう」 せんりつづくり 「はくの流れにのろう」 せんりつづくり 「いろいろな音色を感じ取ろう」 音づくり、リズムアンサンブル 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」 リズムばんそうづくり 「日本の音楽に親しもう」 リズムばんそうづくり 「音楽のしくみ」 せんりつづくり
	第5学年	「和音の美しさを味わおう」 伴奏づくり 「曲想を味わおう」 リズムアンサンブル、リズム伴奏づくり 「音楽のしくみ」 旋律づくり
	第6学年	「いろいろなひびきを味わおう」 リズム伴奏づくり 「世界の音楽に親しもう」 リズムアンサンブル 「物語と音楽」 音楽づくり 「音楽のしくみ」 旋律づくり

<b>観点</b>	(イ) 学習方法の工夫
<b>視点</b>	⑦表現と鑑賞の関連
<b>方法</b>	表現と鑑賞の関連の扱い方及び具体例

	表現と鑑賞の関連の扱い方	第2学年における具体例
<b>東書</b>	<p>題材「ようすを おもいうかべよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞から歌唱の活動につなげている。</li> <li>○ 音色に着目させている。</li> </ul>	<p>活動(1) ようすを おもいうかべて きこう そりすべりをあらわす音がきこえるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「そりすべり」の鑑賞</li> </ul> <p>活動(2) かねのなるようすをおもいうかべてうたおう ともだちのこえをききながらうたえるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キンコンカンコーン」の歌唱 模範演奏後、みんなで歌う。 2組に分かれて交互唱、輪唱をする。</li> </ul>
<b>教出</b>	<p>題材「ようすを 音楽で」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞から歌唱，器楽の活動につなげ，鑑賞でまとめている。</li> <li>○ 繰り返し，リズムに着目させている。</li> </ul>	<p>活動(1) どんなようすを音楽が表しているかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「そりすべり」の鑑賞 活動のポイント：ずっとくりかえしている音やリズムは，何をあらわしているかな。</li> </ul> <p>活動(2) どんな かんじで 歌おうかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こぎつね」の歌唱 活動のポイント：「こぎつねコンコン」のところやくりかえすところの，速さや歌い方をくふうしよう。</li> </ul> <p>活動(3) 汽車の走るようすを 音楽で あらわそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「汽車は走る」の器楽 活動のポイント：くりかえす音やリズムにのって，はやさや強さをかえながら，えんそうしよう。</li> <li>・「しゅっぱつ」を鑑賞し，まとめる。</li> </ul>
<b>教芸</b>	<p>題材「ようすを おもいうかべよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞から歌唱，器楽演奏の活動につなげている。</li> <li>○ 場面の感じの違いに着目させている。</li> </ul>	<p>活動(1) 音楽のかんじのちがいに気をつけてききましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人形のゆめと目ざめ」の鑑賞 それぞれのようすをおもいうかべながらききましょう。</li> </ul> <p>活動(2) かしをたいせつにしようたいましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海とおひさま」の歌唱 それぞれのようすをおもいうかべながら，かしのかんじにあうようにうたいましょう。</li> </ul> <p>活動(3) それぞれのばめんのようすをおもいうかべながらうたいましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小ぎつね」の歌唱 小ぎつねの気もちをかんがえてうたいましょう。 うたをドレミで覚え，鍵盤楽器で演奏する。</li> </ul>

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧題材や資料等の配列
<b>方法</b>	歌唱及び器楽における系統的な扱い及び具体例

	歌唱及び器楽における系統的な扱い	具体例
東書	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱導入曲：「太平洋がわらったら」（部分二部合唱）〈第3学年〉</li> <li>○ 三部合唱導入曲：「ふるさと」（後半三部合唱）〈第6学年〉</li> </ul>
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年で打楽器，鍵盤楽器の基礎的な奏法を中心に構成し，高学年でラテン楽器を導入している。</li> <li>○ 奏法を学ぶ楽器名 第1学年：カスタネット，タンブリン，すず，けんばんハーモニカ，ハーモニカ，こだいこ，おおだいこ 第2学年：トライアングル，てっきん，木きん， 第5学年：クラベス，カウベル，アゴゴ，フロアトムなど</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年から合奏を配列し，第4学年から小アンサンブルを配列している。</li> <li>○ 第1学年合奏曲：「ばなのくに」</li> <li>○ 第4学年小アンサンブル曲：「パフ」</li> </ul>
教出	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年から合唱を導入し，二部合唱を中心とした配列をしている。</li> <li>○ 第6学年で三部合唱を導入している。</li> <li>○ 二部合唱導入曲：「春がきた」（部分二部合唱）〈第2学年〉 「マンガニ，雨とおどろう」 〈第3学年〉</li> <li>○ 三部合唱導入曲：「宝島」「ポアタラウ」〈第6学年〉</li> </ul>
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年で打楽器，鍵盤楽器の基礎的な奏法について巻末に掲載し，第2学年以上でラテン楽器を導入している。</li> <li>○ 奏法を学ぶ楽器名 第1学年：カスタネット，タンブリン，すず，トライアングル，けんばんハーモニカ，ハーモニカ，こだいこ，おおだいこ，てっきん，もっきん 第2学年：ギロ，ウッドブロック，シンバル 第4学年：シェーカー，アゴゴ，フロアトム</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年から合奏し，第3学年から小アンサンブルを配列している。</li> <li>○ 第2学年合奏曲：「汽車は走る」「チャチャマンボ」</li> <li>○ 第3学年小アンサンブル曲：「パフ」</li> </ul>
教芸	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第4学年から合唱を導入し，第5学年までは二部合唱を中心として配列している。</li> <li>○ 第5学年から三部合唱を導入し，第6学年にかけて三部合唱を配列している。</li> <li>○ 二部合唱導入曲：「もみじ」「ゆかいに歩けば」「レッツダンス」〈第4学年〉</li> <li>○ 三部合唱導入曲：「A Good Day」「歌に願いを」〈第5学年〉</li> </ul>
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年で打楽器，鍵盤楽器の基礎的な奏法を中心に構成し，第4学年では，楽器の構造や奏法の違いからもたらされる音色の違いに注目させている。</li> <li>○ 奏法を学ぶ楽器名 第1学年：カスタネット，タンブリン，すず，トライアングル，けんばんハーモニカ，ハーモニカ，てっきん 第2学年：大だいこ，小だいこ，オルガン，ウッドブロック</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年から合奏を配列し，第5学年から小アンサンブルを配列している。</li> <li>○ 第1学年合奏曲：「こいぬのマーチ」</li> <li>○ 第5学年小アンサンブル曲：「威風堂々 第1番」</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑨発展的な学習に関する内容の記述の工夫
<b>方法</b>	題材及び学習内容の構成，発展的な学習内容の表記及び具体例

	題材及び学習内容の構成 発展的な学習内容の表記	第5学年における具体例
<b>東 書</b>	○ 題材及び学習内容の構成 ・教科書全体を「題材構成」部分と，曲集となる「音楽の森」部分の2部に分けて構成している。 ・題材構成部分で学習したことを，曲集部分「音楽の森」で補完している。	【題材構成部分】題材数8 「みんなで歌って音楽なかま」 「音のひびきを感じとろう」 「曲のしくみを感じとろう」 「アンサンブルを楽しもう」 「ひびきを感じて味わおう」 「音楽づくりを楽しもう」 「日本の音楽，アジアの音楽」 「音楽会を開こう」 【曲集部分】掲載曲数13 「音楽の森」
	○ 発展的な学習内容の表記 ・活動のヒントやアドバイスを吹き出しで示している。	「56～57ページでオーケストラの楽器をたしかめよう。」 「歌のふしを楽器でえんそうしてもいいね。」 「『音楽の森』にもイ短調や8分の6拍子の曲があるよ。」
<b>教 出</b>	○ 題材及び学習内容の構成 ・教科書の主要部分を題材群1（基礎となる学習），題材群2（学習の広がり）に分けて構成している。 ・弾力的な運用が可能な選択部分（つくる・きく，音楽ランド，にっぽんのうた みんなのうた）を設定している。	【題材群1】題材数2 「音の重なりとひびき」 「アンサンブルのみりよく」 【題材群2】題材数5 「言葉と音楽」 「音楽の旅」 「豊かな表現を求めて」 「音楽のききどころ」 「心を合わせて」 【選択部分】 ・ つくる・きく 「言葉のイメージから音楽をつくろう」 「インターロッキングの音楽にチャレンジ」 「オーケストラと合唱のひびきを楽しもう」 ・ 音楽ランド（曲集 掲載曲数10） ・ にっぽんのうた みんなのうた（掲載曲数3）
	○ 発展的な学習内容の表記 ・マークを付し，目次に示している。	・「発展」として，第4学年から，各学年の学習指導要領に示されていない内容に関して示している。 「全休ふ … ズ の4倍の長さを休む(1小節休むときにも使う)」
<b>教 芸</b>	○ 題材及び学習内容の構成 ・教科書全体を「題材構成」部分と，題材構成部分で学習したことを補完する部分で構成している。	【題材構成部分】題材数7 「楽譜を読もう」 「いろいろなひびきを味わおう」 「和音の美しさを味わおう」 「曲想を味わおう」 「詩と音楽を味わおう」 「日本と世界の音楽に親しもう」 「音楽の楽しさを味わおう」 【補完部分】 「物語と音楽」 「鑑賞する楽しみ」 曲集「みんなで楽しく」（掲載曲数12） 「ことに親しもう」 「鑑賞資料」
	○ 発展的な学習内容の表記 ・マークを付し，目次に示している。	・「チャレンジ！」として，全学年において一歩進んだ活動を示している。 「 <b>イ</b> の旋律を好きな楽器で演奏してみよう。」 ・「ステップアップ」として，第3学年から，各学年の学習指導要領に示されていない内容やより知識を広げる活動を示している。 「ヘンデルについて調べてみよう。」

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用
<b>方法</b>	キャラクターやマーク等の活用，楽譜の扱い及び具体例

	キャラクターやマーク等の活用，楽譜の扱い	具体例
<b>東 書</b>	○ キャラクターやマーク等の活用 ・活動の手助けとなるヒントをキャラクターに発言させている。	「ホルンの音を中心にきくと， <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">A</span> のふしを見つけやすいね。」 「いろいろなたいこの組み合わせもおもしろいよ。」 「声がわりした人は無理なく歌えるところを歌ってね。」
	○ 階名による視唱奏のための楽譜の扱い	1年生：階名を灰色のたま，休符を点で示している。 2年生：五線で示し，ト音記号と拍子記号を灰色，音符・休符は黒色で示している。音符のたまに階名を示している。 3年生：初めの2曲までは，最初に出るふしのみ階名を示している。
<b>教 出</b>	○ キャラクターやマーク等の活用 ・マークを付し，学習の振り返りや資料へのリンクを紙面上で示している。	マークの内容 音楽のもと（音楽を形づくっているもの） 活動のポイント 前の学習を思い出そう。 ほかのページも見てみよう。
	○ 階名による視唱奏のための楽譜の扱い	1年生：階名をたま，休符をひし形で示している。 2年生：五線で示し，ト音記号と拍子記号を青色，音符・休符は黒色で示している。音符のたまに階名を示している。 3年生：階名を示した五線は掲載していないが，最初の題材の中で階名を含め，楽譜についての学習を掲載している。
<b>教 芸</b>	○ キャラクターやマーク等の活用 ・活動の手助けとなるヒントをキャラクターに発言させている。	「12ページを参考にしながら，楽器の選び方について話し合ってみよう。」 「朗読を参考にして，強さや声の音色などを工夫してみよう。」
	○ 階名による視唱奏のための楽譜の扱い	1年生：階名をたま，休符を点で示している。3つ目の題材にある曲から，二線で示している。 2年生：最初の4曲を二線で示し，五線に移行している。音符のたまに階名を示している。音記号と拍子記号を青色，音符・休符は黒色で示している。 3年生：初めの2曲までは，最初に出るふしのみ階名を示している。

<b>観点</b>	(オ) 言語活動の充実
<b>視点</b>	⑪鑑賞領域における言語活動の工夫
<b>方法</b>	鑑賞領域における話し合う視点の記述，ワークシートの工夫及び具体例

	話し合う視点の記述 ワークシートの工夫	第4学年における具体例
東 書	<p>題材「ふしのとくちょうを感じとろう」</p> <p>○ 話し合う視点の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>番号を付した箇条書きの文章で学習手順を示す中で，聴き取り方と話し合いの視点を記述している。</li> </ul>	<p>活動 感じのちがいを味わおう</p> <p>教材曲 「トランペットふきの休日」「トランペットふきの子ども歌」</p> <p>○ 聴き取り方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「トランペットふきの休日」と「トランペットふきの子ども歌」をききましょう。</li> <li>② 2つの曲をきいて，感じたことを話し合しましょう。</li> <li>③ もう一度，速さや感じのちがいに気をつけて2つの曲をききましょう。そして，好きな方の曲をえらんで，えらんだ理由や感じたことをカードに書きましょう。</li> </ol>
	<p>○ ワークシートの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動と関連させた記録用ワークシートの記入例を，「カードのれい」として提示している。</li> </ul>	<p>○ ワークシートの内容（児童の記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>えらんだ理由 元気のよい曲がすきだから。</li> <li>感じたこと トランペットは，とても明るい音だった。 「トランペットふきの休日」は，速くてはずんだ感じのする曲だったので，休日の楽しい気分を表していると思った。</li> </ul>
教 出	<p>題材「音楽のききどころ」</p> <p>○ 話し合う視点の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞したことを記録する活動の中で，聴き取り方と話し合いの視点を記述している。</li> </ul>	<p>活動 曲の流れを感じ取り，全体を味わってきこう</p> <p>教材曲 「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <p>○ 聴き取り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に合わせて体を動かしたり，しきをしたりしながらきいてみよう。</li> <li>気がついたことや，感じ取ったことを記録しておこう。</li> <li>上の表をもとに，この曲のおもしろいな，よいなと思ったところを友達に伝えよう。</li> </ul>
	<p>○ ワークシートの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の観点を例示するとともに，話し合い活動と関連させながら，曲の流れに沿って実際に記入できる1ページ分のワークシートを掲載している。</li> </ul>	<p>○ ワークシートの内容（鑑賞の観点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気がついたこと (よくきこえてくる楽器は何か。どんな速度かな。強弱はどうか。)</li> <li>感じ取ったこと (ふん囲気や，イメージした様子など)</li> </ul>

教 芸	題材「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」	
	<p>○ 話し合う視点の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業場面を表す挿絵とともに示す活動の中で、聴き取り方と話合いの視点を記述している。</li> </ul>	<p>活動 曲のとくちょうを感じ取りましょう</p> <p>教材曲 「つるぎのまい」「白鳥」</p> <p>○ 聴き取り方と話合いの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せんりつやばんそうの音の動きやリズム、速さや強さなどに気をつけながら、2つの曲をききくらべましょう。</li> <li>・2つの曲は、それぞれどのような感じがしたか、話し合ってみましょう。</li> <li>・&lt;キャラクターの吹き出し&gt;「つるぎのまい」はあらあらしい感じがしたけど、「白鳥」はどうかな。</li> </ul>
	<p>○ ワークシートの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話合い活動を通して、音楽の要素ごとに曲の特ちょうをまとめるワークシートを例示している。</li> </ul>	<p>○ ワークシートの内容（音楽の要素等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感じのちがいを生み出しているそれぞれの曲のとくちょうをみんなでまとめてみましょう。</li> <li>・音の動き           ・リズム           ・速さ           ・強さ</li> </ul>